

科目名	建築施工管理								年度	2025
英語科目名	Architectural Construction Management								学期	通年
学科・学年	建築設計科 2 年次		必／選	必	時間数	90	単位数	6	種別※	講義
担当教員	石井 尚樹		教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築施工管理		
【科目の目的】 ・ 建築の国家試験問題に対応できるようになる。 ・ 過去出題問題を解いて、確実に合格点が取れるようにする。 ・ 新規問題にチャレンジし、応用力を身に着ける。										
【科目の概要】 建築の国家資格の過去問題に多く接し、その解き方と傾向について学ぶ。身についた実力で 2 級建築施工管理技士補（7 月と 11 月に受験）の試験を受験し、資格を取得する。										
【到達目標】 A. 試験問題の傾向や解答の考え方、注意すべき点などについて理解する。 B. 過去問題に多く接し、類似問題や正しい規準の数値をしっかりと記憶し、合格点に達することができる。 C. 最近出題された新規問題や応用力を試される問題に挑み、獲得点数をアップさせる。										
【授業の注意点】 購入した問題集は、3 回以上繰り返し読み、解答と照らし合わせる。何よりも試験問題に慣れて出題傾向をつかみ、その先の応用力を身につけなければ、合格点に到達できない。授業ではより詳しい解説を行い、質問対応をすることで個別のスキルアップを図るので、苦手とする分野は積極的に参加すること。										
評価基準＝ルーブリック										
ルーブリック 評価	レベル 3 優れている				レベル 2 ふつう				レベル 1 要努力	
到達目標 A	試験の出題傾向を理解し、様々な問題形態について解答できる。				試験の出題傾向を理解し、過去問題に対応できる。				試験の出題傾向が分からず、過去問題に対応できない。	
到達目標 B	専門性の高い技術に対して理解し、問題に対応できる。				専門用語を理解し、正しい基準となる数値を覚えている。				専門用語や基準となる数値が覚えられない。	
到達目標 C	1 級の国家試験に出題されたレベルの問題にも対応できる。				新規問題や応用問題にも対応できる。				過去繰り返し出題された問題も理解できない。	
【教科書】 2 級建築施工管理技士第一次検定テキスト・問題解説（総合資格学院）										
【参考資料】 必要な資料がある場合は、適宜配布する。										
【成績の評価方法・評価基準】 2 級建築施工管理技士補の可否を 40 %、練習問題の評価を 4 0 %、授業への取り組み状況を 2 0 %、として評価する。										
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。										

科目名		建築施工管理			年度	2025
英語表記		Architectural Construction Management			学期	通年
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	環境工学	空気や熱の流れについて学ぶ。	1 換気	換気方式の種類や換気計算などができる。	1	
			2 熱	熱貫流や断熱効果などが分かる。		
			3 結露	結露の仕組みとその予防対策が分かる。		
2		あかりや色の感じ方、音の影響について学ぶ。	1 日照・採光	大洋や照明による光・熱の影響と効果が分かる。	1	
			2 色彩	色の特性としてその効果と利用方法が分かる。		
			3 音響	音の残響効果や遮音・吸音の方法が分かる。		
3	構造力学	静定構造の基本的な計算や考え方を学ぶ。	1 静定構造の反力	単純梁や門型ラーメンの反力計算ができる。	1	
			2 断面の性質	断面二次モーメントの計算ができる。		
			3 応力図	曲げモーメント図・せん断力図が理解できる。		
4	各種構造	構造設計の基本と躯体構造の仕組みを学ぶ。	1 構造設計	積載荷重や積雪・地震による設計が分かる。	1	
			2 木・RC造・S造	各種躯体構造の仕組みが分かる。		
			3 基礎構造	直接基礎と杭基礎についてわかる。		
5	施工共通	建物以外の工事などについて学ぶ。	1 舗装	アスファルト舗装について仕組みが分かる。	1	
			2 測量	測量方法とその制度について分かる。		
			3 積算	積算基準と数量を計算する方法などが分かる。		
6		各種設備工事について学ぶ。	1 電気	電気設備や消防設備について分かる。	1	
			2 空気調和	空気の温度調節と換気について分かる。		
			3 給排水	給水設備と排水設備を関連させて理解できる。		
7	法規	建築やそれを職業とする法律について学ぶ。	1 建築基準法	主に単体規定に関してわかる。	1	
			2 建設業法	建設業の許可や請負契約について分かる。		
			3 建設リサイクル法	産廃とリサイクルするべき廃材について分かる。		
8		労働環境に関する法律について学ぶ。	1 労働基準法	労働契約や条件、年齢制限について分かる。	1	
			2 労働安全衛生法	管理体制や特別教育・技能講習などが分かる。		
			3 騒音・振動・道路など	特定建設作業や道路法などが分かる。		
9	躯体工事	土に接する部分の工事や仮設について学ぶ。	1 仮設	共通仮設と直接仮設について分かる。	1	
			2 土・山留め	山留と支保工、排水工法などが分かる。		
			3 基礎	既製杭と場所打ちコンクリート杭が分かる。		
10		RC造・S造の工事について学ぶ。	1 鉄筋・型枠	鉄筋の加工・配筋と型枠の仕組み・脱型が分かる。	1	
			2 コンクリート	コンクリート練り混ぜと打設・養生が分かる。		
			3 鉄骨加工・建方	鉄骨の加工と建方および接合方法が分かる。		
11		新築工事以外の工事について学ぶ。	1 耐震補強	各種耐震補強と耐震スリット工法が分かる。	1	
			2 各種改修	防水や建具の改修工事が分かる。		
			3 RC造の解体	RC造の解体工法と作業手順などが分かる。		
12	仕上げ工事	外装工事について学ぶ。	1 防水・屋根	屋上や屋根の工事とシーリングについて分かる。	1	
			2 タイル・石	タイルや石を乾式・湿式で取付ける工法が分かる。		
			3 ALC・セメント板	S造外壁のカーテンウォールについて分かる。		
13		内装工事について学ぶ。	1 LGS・木下地	天井や間仕切り壁の下地について分かる。	1	
			2 建具・ガラス・左官	開口部の工事と左官工事が分かる。		
			3 床・塗装	床の各種仕上げと塗装工事について分かる。		
14	施工管理	施工計画の要点と、材料・工程管理について学ぶ。	1 施工計画	施工計画の立て方が分かる。	1	
			2 材料管理	各種材料の現場保管について分かる。		
			3 工程管理	各種工程表とその役目について分かる。		
15		管理手法と品質・安全管理について学ぶ。	1 デミングサイクル	管理項目とその管理手法が分かる。	1	
			2 品質管理	各種管理図とその特徴や、検査について分かる。		
			3 安全管理	労災や安全衛生管理体制について分かる。		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等